



解説

「やまがた花笠プラン Since2011 Revision2019」



～山形県公立小中学校事務職員研究協議会～

ともに（協働） かかわり（連携） つなぐ（調整と継承）

○チーム学校として思いを共有しながらともに

○家庭・地域・教育機関・福祉行政機関とかかわり

○学校・家庭・地域をつなぐ 先輩から後輩へ思いと実践をつなぐ

- ◇学校の目標を常に意識し、他の職員と思いを共有します。
- ◇職種や経験年数の違いを生かし、みんなの声に耳を傾け、対話をとおした環境づくりに努めます。
- ◇事務職員としての視点から学校を見つめ、家庭や地域・各機関と課題の解決に向けたネットワークづくりに努めます。
- ◇学校・家庭・地域・各機関それぞれの役割や強みを生かせるような、バランスの良い関係を構築します。
- ◇事務職員として、子ども・家庭・地域と学校をつなげるルートを構築します。
- ◇先輩は、実務や実践とともに、職場内や保護者・地域とのかかわり方や、仕事をする上での姿勢を後輩に伝え、つないでいきます。





創造的な学校事務の実践



学校経営の一翼を担う教育行政の専門職として、広い視野を持ち学び続けよう

学校事務職員としてなにが必要か、なにができるのか、そのためになにを学べばいいのかを常に考え、実践の積み重ねにより「深化」し、時代の変化に対応し、「進化」する事務職員になるように自己研鑽に励みます。

そのために柔軟な思考力を身につけ、常に考え行動していきます。



1から6の実践に取り組みます



1. 企画力・調整力・提案力を身につけ、学校運営に貢献しよう

- ◇学校教育目標の達成に向けて問題や改善点に気づき、自分の考えを提案します。
- ◇前年度のものを踏襲するだけでなく、創意工夫したアイデアを形にして、相手にわかるように伝えます。
- ◇社会の変化をとらえた柔軟な対応ができるように自らのスキルを高めます。
- ◇自らチャレンジし、経験から学んでいきます。

2. 子ども・家庭・地域・関係機関とともに、学びの環境づくりに取り組もう

- ◇家庭や地域・関係機関と継続的な情報交換をすることにより、子どもの学びのために必要なことを考えていきます。
- ◇教材備品や施設設備などのハード面の整備とともに、子どもたちをとりまくさまざまな状況に目を向け、必要な家庭支援を行い、学びに向かえる環境づくりに取り組みます。
- ◇職員が効率よく、いきいきと仕事ができるような環境づくりに努めます。

3. 目標やビジョンを教職員と共有し、財務マネジメントを推進しよう

- ◇教育行政の専門職として、学校教育目標や経営方針の達成を財務面から考えます。
- ◇教職員の財務に対する意識を高めるよう働きかけます。

4. 情報の収集・管理を主体的に行い、効果的に発信しよう

- ◇多角的に情報を集め、分析し、誰にどのような情報を届けるのか意識してわかりやすく発信します。
- ◇教員とは異なる立場で得た情報を校内で共有していきます。
- ◇地域の意見や保護者の声を大事にしていきます。
- ◇必要に応じて、地域や市町村教育委員会等へ適切に情報を発信します。

5. 学習指導要領の理解に努め、社会の変化に素早く対応しよう

- ◇改訂された学習指導要領の趣旨をとらえ、子どもたちの将来を見据えながら、理解に努めます。
- ◇事務職員の視点から、学習指導要領に合わせて学習環境を整えます。
- ◇いま必要とされていることを察知し、社会の動きに目を向け、柔軟に対応する力をつけていきます。

6. 共同学校事務室の設置に向けて学校事務の協働をすすめ、次世代の学校をつくりあげよう

- ◇ひとりで抱え込まずに協働で進めることにより、個人のスキルアップと事務部門の組織的な強化につなげていきます。
- ◇これまで築いてきたものを大事にし、当たり前とってきたことにも疑問を持ち、より良い方法がないかを常に考え、学校を改善していきます。
- ◇各自の得意分野や実践を他校と共有することで、事務の円滑化及び平準化を図ります。
- ◇今までの経験やお互いの実践から学び、ともに高め合います。
- ◇学校経営、地域連携全般に係る支援を行い、学校の教育力や組織力を向上させた「チーム学校」を実現し、山形県の学校教育のさらなる充実をめざします。

私たちは自分の仕事を創造的視点でとらえ、挑戦（自己変革）を続けてきました。
これまでの実践を生かし、さらに挑戦を進めていきます。



そして すすめ（挑戦）
事務を「つかさどる」職として子どもたちのためにもう一歩先へ

学校事務職員の立場から提案し、学校運営・学校経営に生かす意識を持ちます。そして、社会や学校の動きを敏感に察知し、それぞれが抱える課題の解決に向け積極的にかかわっていきます。

学校のため・子どものために何ができるのかを根底に考え、真摯に仕事に向き合い、チャレンジします。

○ マネジメント力を高め、事務職員の立場から学校運営をコーディネートしていきます

◇「これまで学んできた法令や制度を基礎とする」日々の学びと、「前に進むための」研修を積み、「学校教育目標達成のための」マネジメント力を養います。

◇事務職員がどうかかわり、他の職員がどうかかわれば、効果的であるかを考えて、学校運営をコーディネートしていきます。

※マネジメント力

なにかの事柄を管理したり、うまく運営したりする力
目的を達成していく力 各自の役割を生かす力

※コーディネート

物事がうまくいくように調整すること
向かうべき目標・ゴールまで着実に誘導していくこと

